

令和7年度 小樽市立手宮中央小学校 学力向上改善プラン

1 児童の実態

昨年度の標準学力調査（2～5年）では、学年が上がるにつれ平均正答率が下がっていくという基本的な傾向は依然として継続している。しかし、一昨年度標準スコアが4・4以下の学年が持ち直していること、特に算数ではT・Tによる効果が出ていることが同一集団の結果からも表れている。昨年度末の改善プラン検証では、音読の定着が全学年で8割以上と高い数値が出ているものの、漢字の書き取りは7割程度にとどまり、引き続き基礎基本の確かな定着が求められる。算数では、低学年では高い定着率だが、中学年からは目標の7割程度と、抽象的思考が求められる学年からのつまづきが見られた。きめ細やかな指導や補充指導・個別指導の充実とともに、基本的な生活習慣の確立に向けて家庭や地域と連携しながら指導を進めていく必要がある。

2 学年ごとの定着目標（数値目標）

<国語科>

学年	定着目標
1年	・漢字を正確に読み、8割以上書くことができる。 ・つまづかずに文章を読む。
2年	・漢字を正確に読み、8割以上書くことができる。 ・句読点に気をつけて、つまづかずに文章を読む。
3年	・漢字を正確に読み、8割以上書くことができる。 ・句読点に気をつけて、つまづかずに文章を読む。会話を工夫して読む。
4年	・漢字を正確に読み、8割以上書くことができる。 ・句読点に気をつけて、つまづかずに文章を読む。登場人物の気持ちに気をつけて読む。
5年	・漢字を正確に読み、8割以上書くことができる。 ・聞き取りや速さで、つまづかずに文章を読む。地の文、会話を意識して読む。
6年	・漢字を正確に読み、8割以上書くことができる。 ・聞き取りや速さで、つまづかずに文章を読む。登場人物の心情を工夫して読む。

<算数科>

学年	定着目標
1年	・繰り上がりのあるたし算、繰り下りのあるひき算ができる（定着8割）。
2年	・九九をつまづかずに言うことができる（定着8割）。
3年	・かけ算の筆算ができる（二・三位数×二位数）。 ・小数や分数のたし算、ひき算ができる（定着8割）。
4年	・小数のたし算、ひき算ができる（定着8割）。 ・小数と整数のかけ算、わり算ができる（定着8割）。
5年	・小数のかけ算、わり算ができる（定着8割）。 ・分母の異なる分数のたし算、ひき算ができる（定着8割）。
6年	・分数と整数、分数同士のかけ算、わり算ができる（定着8割）。

<学習・生活習慣（家庭学習等）>

学年	定着目標
1年	・20分間の家庭学習、音読、基本的な生活習慣
2年	・30分間の家庭学習、音読、基本的な生活習慣
3年	・40分間の家庭学習、音読、基本的な生活習慣
4年	・50分間の家庭学習、音読、基本的な生活習慣
5年	・60分間の家庭学習、音読、基本的な生活習慣
6年	・70分間の家庭学習、音読、基本的な生活習慣

3 目標を達成するための具体的な方策

（1）基礎学力の確実な定着を図る取組

- ①算数について、習熟度別少人数指導・T・T指導の実施
- ②国語について、手宮中央タイム（書く活動・読み取りの活動）
- ③該当学年での新出漢字を2学期までに終了させ、定着のための時間を十分に確保
- ④中・高学年における教科担任制の導入・継続
- ⑤放課後学習の取り組みや長期休業中の補充学習

（2）確かな学力をはぐくむ授業改善の取組

- ①各学年における「見方・考え方」を系統的に指導
- ②子どもに身につけさせたい「見方・考え方」を逆算した授業構成の工夫
- ③自己の課題や目的に応じたチーム別研修

（3）家庭と連携した学習習慣・生活習慣をはぐくむ取組

- ①家庭学習の手引きの配付、家庭学習の充実
- ②毎日の音読、宿題
- ③家庭学習ノートなど、異学年の学習の取り組みの交流
- ④各家庭でテレビ、動画視聴、ゲーム時間についてのルール作り

4 実施計画

年月日	計画内容
R7年	
4月	・チャレンジテスト（前年度問題）の実施 ・全国学力・学習状況調査過去問題の実施 ・家庭学習の手引き配付と保護者への説明 ・放課後学習
5月	○標準学力調査実施（第2・3・4・5学年）
6月	○R7全国学力・学習状況調査の実施 ○全国学力・学習状況調査 自校採点
7月	○標準学力調査結果分析 ・手宮中央タイムの実施 ・保護者面談の実施 ・1学期のまとめ、ふりかえりの実施 ・チャレンジテスト（1学期末問題）の実施 ・児童アンケート、保護者アンケートの実施・分析
8月	・夏季休業中の学習会
9月	○R7全国学力・学習状況調査結果分析
10月	・地域公開日（土曜日）、学校説明会
11月	○保護者への調査結果の説明
12月	○学力向上改善プランの評価・改善 ・個人結果の説明 ・保護者面談の実施 ・2学期のまとめ、ふりかえりの実施 ・チャレンジテスト（2学期末問題）の実施 ・児童アンケート、保護者アンケートの実施・分析 ・全国学力・学習状況調査過去問題の実施
R8年	
1月	・冬期休業中の学習会
2月	・学力向上検討委員会「確認テスト」の実施・分析 ・3学期のまとめ、ふりかえりの実施
3月	○新学力向上改善プランの作成

5 評価方法

（1）基礎学力の確実な定着について

- ①単元テスト・チャレンジテスト・学力調査の実施
- ②国語・算数の確認テストの実施

（2）授業改善について

- ①全学級、専科教員による授業公開
- ②校内研修における授業改善方法の交流

（3）望ましい学習習慣・生活習慣について

- ①児童・保護者アンケート
- ②保護者説明会の実施